

「中プロ・デザインラボ（第5回）」を開催します ～中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討するための「意見交換の場」～

千葉市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、「車中心」から「ひと中心」へと転換するウォーカブルなまちづくりを推進しています。

このたび、千葉都心の「まちの顔」である中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討するため、中プロ・デザインラボ（第5回）を開催しますので、お知らせします。

1 概要

市民、事業者、大学、行政などが、多様な視点や価値観で、中央公園プロムナードおよびその周辺の課題やテーマについて、意見交換し、将来像を検討します。

第5回は、各エリアの将来イメージに必要な追加・変更点を班で整理し、その内容を踏まえて「将来ありたい姿（フレーズ案）」を提案するワークショップを実施します。

2 日時

令和7年12月11日（木）14:00～16:30（予定）

※13:45から受付開始

3 場所

千葉商工会議所 第1ホール

（中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館14階）

4 内容

- ・第4回中プロ・デザインラボ、オープンラボ（シンポジウム）の結果共有など
- ・これまでの成果を踏まえ、将来イメージ（パース案）やまちづくりビジョン（構成案）を共有し、中プロおよびその周辺エリアが将来目指す姿を具体化する意見交換を行う。
- ・整理した将来イメージを踏まえ、「将来ありたい姿（フレーズ案）」を個人ワークで提案し、“まちの姿”の検討を行う。

5 定員

約50人（事前申し込み・先着順）

6 参加費

無料

7 申し込み方法

12月10日（水）正午までに市ホームページからお申し込みください。

【URL】<https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/designlab05.html>



＜参考＞

1 中プロ・デザインラボの開催実績について

	開催日・場所	内容
第1回	令和7年2月21日 市役所	千葉大学都市デザインスタジオ 2024 からの提案「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」を基に意見交換を実施し、提案内容を模型や3D都市モデルに反映させ、道路空間の活用イメージの共有を行いました。
第2回	令和7年6月2日 千葉商工会議所	千葉駅周辺の航空写真を用いた魚眼マップを使って、地域の資源や課題、まちづくりのアイディアをポストイットで貼り出し、意見を可視化・整理するワークショップを実施しました。
第3回	令和7年8月26日 千葉商工会議所	中央公園プロムナードや周辺エリアの将来像について、参加者が自身の価値とエリアの将来イメージを整理・共有した上で、具体的な利用シーンを抽出し、利用前後に立ち寄るプロムナードや周辺の姿を考えるワークショップを実施しました。
第4回	令和7年10月14日 千葉商工会議所	第3回中プロ・デザインラボで整理した「将来の利用者像」を踏まえ、中央公園プロムナードおよび周辺の将来イメージや利用シーンの実現に向けた具体的な戦略を、ワークショップ形式で検討しました。

2 千葉市中心市街地まちづくり協議会について

中心市街地内の商店街、町内会・自治会、企業、千葉県、千葉市、商工会議所などの会員で組織される、千葉市中心市街地の活性化を図ることを目的とした組織です。

3 デジタルプラットフォームについて

多様な意見の収集を図ることを目的として、従来のワークショップに加え、オンラインで参加者の意見やアイディアを募集・共有するデジタルプラットフォームを立ち上げました。多くの皆さまからのご意見等をお待ちしています。(詳細は市ホームページ参照)

○デジタルプラットフォーム (『my groove』 株式会社 Groove Designs 開発・運営)

【URL】 <https://mygroove.city/organizations/23>



○市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/digitalplatform.html>

